

2020年、保健師 だからできること!

難病対策地域協議会の活用、
災害対策や COVID-19 蔓延下での
療養支援の取り組みに学ぶ

Zoomによる
Webセミナー開催決定!

2020年 **12月18日** (金)

13:00~17:00

★事前申込制・参加費無料

【対象】 都道府県、保健所設置市・特別区等で難病保健活動に従事する保健師の皆様

【申込方法】 厚生労働省「難病患者の支援体制に関する研究班」ホームページよりお申し込みください

<https://plaza.umin.ac.jp/nanbyo-kenkyu/>

◆締切 2020年12月6日(日)

<プログラム> (予定) 途中休憩含む

13:00 開会

◆<国の難病施策>

セッション1
・国の難病施策の動向と難病保健活動への期待
厚生労働省 難病対策課 (予定)

◆<各地の難病・小慢保健活動紹介>

セッション2
①難病療養の課題と“難病対策地域協議会”の活用・全国の状況
- 2019年度の研究班調査結果から -
小倉朗子 (厚労科研 研究分担者/東京都医学総合研究所)
②難病の地域診断と難病対策地域協議会を活用する難病保健活動
- 都医学研セミナー受講後に考えたこと、取り組んできたこと、やりたいこと -
齋藤紗也香氏 (滋賀県草津保健所)
③難病対策地域協議会を活用する難病の地域ケアシステムづくり
- 難病の理解・制度の普及啓発と災害の備えをすすめる活動 -
島村富子氏 (熊本市保健衛生部 医療政策課)
④人工呼吸器使用在宅患者の災害時個別支援計画の策定と被災経験から感じていること
上野久美子氏 (熊本市保健衛生部 医療政策課)
⑤COVID-19 蔓延下での小児慢性疾患患者やご家族への支援と保健所における支援の仕組みづくり
の取り組みから
田倉悦子氏 (神奈川県 厚木保健福祉事務所大和センター)

◆<難病(小慢を含む)療養を支える活動や取り組み>

セッション3
・災害時対策 避難入院の体制づくりと神経難病リエゾン
溝口功一氏 (厚労科研 研究分担者/国立病院機構 静岡医療センター)

総合討論

助言者: 千葉圭子氏 (厚労科研 研究分担者/京都府看護協会)
小森哲夫氏 (厚労科研 研究代表者/国立病院機構 箱根病院)

17:00 閉会